program E

コンペティション

10/27(土)・10/28(日)

11:00-／13:00-
19:00-／21:00-
（開場は10分前）
※詳細は下のタイムテーブルをご確認ください

実写、アニメーション、ドキュメンタリーなどジャンルを問わずに公募を行うコンペティション。応募総数253作品の中からスタッフによる選定を通過した全10作品を期間中に上映し、最終日28日にゲスト審査員によるグランプリと準グランプリのほか、観客の皆様の投票による観客賞、日本映画専門チャンネル賞が決定！授賞式後は審査員とノミネート監督全員によるトークセッション、グランプリ作品の上映を行います。

各回 800円　3回券 1,600円　※全作品ご鑑賞のお客様には特典あり！　@トリウッド

［授賞式＋トークセッション＋グランプリ作品上映］
10/28(日) 18:00-（開場17:50）　料金 1,000円　@北沢タウンホール

［第1部（73分）］

声（監督：串田壮史／10分00秒）

寂しい男の部屋の壁に、ある日、女の影が浮かび上がる。男は光と影に心を奪われてゆく。

最期の星（監督：小川紗良／27分17秒）

高校に入ったばかりの琴子は、毎日を退屈に過ごしている。そんな琴子の後ろは、闘病中の瀬戸幸さんの席。みんな、まだ誰も会ったことのない彼女のことを“さっちゃん”と呼んでいる。ある日、琴子の目の前に謎の少女が現れて、退屈だった日々を変えていく。あなたは、だれ？

モフモフィクション（監督：今津良樹／6分40秒）

最近、ますます目常で目にすることも多くなってきた、愛くるしくて体はふわふわ、不思議な魅力を持つ、もふもふ動物たちを紹介します。

ウーマンウーマン（監督：近藤啓介／29分）

世界中をリアカーを引きながら歩き続ける冒険家の女が、可愛いが命の女子大生に出会う。そして、冒険家の中の女子大生に対するいら立ちが募っていく。

［第2部（84分）］

はりこみ（監督：板垣雄亮／28分10秒）

住宅街で重要参考人を張り込む刑事たちの雑談を中心に人間関係を描く会話劇。年代・役職を異にする刑事たちが繰り広げる様々な会話のなか、期待を裏切る結末は新たな事件の予感を誘う。

すみっこのこ（監督：浅野陽子／04分06秒）

みんな飛んでいってしまえばいいのに一。学校嫌いの少女は、教室の隅で想像世界を膨らませていく。

からっぽ（監督：野村奈央／52分30秒）

一週間365日朝昼晩と、数十個ものアルバイトをローテーションする超フリーター、渡良瀬まち(23)は、自分をモデルに絵を描きたいという引きこもりがちの画家、岡崎由人（19）との出会いをきっかけに、ほんとうの自分のようなものを見つけたはずだった。

［第3部（82分）］

くゆるひ（監督：宮原周平／22分30秒）

30歳を過ぎ売れない俳優を続けていた笹原は、昔鬼才と呼ばれていた、喜多村監督の新作に抜擢される。倉庫内に1ヶ月近く軟禁されながらの理不尽で横暴な喜多村の指導にやがて身も心も崩壊していく笹原。それでも、なんとか食らいついて徐々に“ナカムラ”という役をものにしていったかに見えたが…。

ある日本の絵描き少年（監督：川尻将由／20分16秒）

ある日本の漫画家を目指す少年の半生を、少年の絵柄の成長とともに映像表現を変えて語るアニメーション作品。

チョンティチャ（監督：福田芽衣／40分）

ミャンマー人とタイ人のハーフとして日本に生まれたチョンティチャは、自らの生い立ち、居場所、名前、生活に違和感を覚えながらも、心に無駄な波風を立てぬよう、日々をやり過ごしていたのだが…。いつもより少し煩い、16度目の夏。

コンペティション審査員

大九明子【映画監督】

明治大学経済学部卒業後、芸人養成学校スクールJCAの第1期生となり、数々のバラエティ、ライブに出演の後、制作者サイドを目指し、映画美学校の第1期生となる。在学中の99年、初監督＆脚本作品「童外と死なない」でデビュー。『恋するマドリ」（'07）で劇場長編デビュー。17年、監督・脚本を手がけた、綾矢りさ原作の「勝手にふるえてろ」が大ヒットを記録し、東京国際映画祭コンペティション部門で観客賞を受賞するなど注目を集めた。19年、「美人が過活してみたら」が公開待機中。

直井卓俊【企画・配給プロデューサー】

映画の企画・配給を手がけるSPOTTED PRODUCTIONS代表。「フラッシュバックメモリーズ3D」（'12/松江哲明）「SRサイタマノラッパー」シリーズ（'09・'12/入江悠）「劇場版神聖かまってちゃん」（'11/入江悠）「百円の恋」（'14/武正晴）「私たちのハァハァ」（'15/松居大悟）「14の夜」（'17/足立紳）「はらはらなのか。」（'17/酒井麻衣）「MOOSIC LAB」（'12〜'V.A.）など、インディペンデント映画を中心に企画・配給・宣伝プロデュースを手がける。

大槻貴宏【トリウッド代表】

1999年、短編専門の映画館「トリウッド」を開館。新海誠監督、野口照夫監督、山田広野、深川栄洋監督、吉田恵輔監督等を輩出し、トリウッドは新人作家の登竜門となっている。また、「ポレポレ東中野」のプロデューサーも務める。作品は「作る事」だけが目的でなく、「見せる事」そして「稼ぐ事」が目標であるとし、職業としての映画監督への分かりやすいステップを構築する。

轟夕起夫【映画評論家】

「キネマ旬報」「映画秘宝」「週刊SPA!」「クイック・ジャパン」「ケトル」「DVD&ブルーレイでーた」などで執筆中。編著に「清／順／映／画」（ワイズ出版）、「好き勝手 夏木陽介スタアの時代」（講談社）など。取材・構成を担当した「伝説の映画美術監督たち×種田陽平」がスペースシャワーブックスより発売中。

公式サイト：http://homepage1.nifty.com/tollywood/

9/28（金）より、青山シアターにて「2014ー2017年 セレクション配信」、10/28（金）より「2018年コンペティション作品セット」を配信！ https://aoyama-theater.jp

TIME TABLE

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
10/26(金)	トリウッド											A 柄本佑×三宅唱、特集上映。			
10/27(土)	トリウッド		E コンペティション（第1部）※舞台挨拶あり		E コンペティション（第2部）※舞台挨拶あり						E コンペティション（第3部）※舞台挨拶あり		E コンペティション（第2部）		
	下北沢ReG			B ちょっとの雨ならがまん in下北沢											
10/28(日)	トリウッド		E コンペティション（第3部）		E コンペティション（第1部）										
	北沢タウンホール		C 演劇×映画の可能性					D MOOSIC LAB 2018 下北沢映画祭セレクション			E 授賞式+トークセッション+グランプリ上映				

日本映画専門チャンネル
東放学園映画専門学校

CyberLink
コンペティションノミネート監督全員にPowerDirectorの新バージョンを贈呈いたします

オリジナルTシャツ製作工房
steal factory
03-3485-1150
info@steal-factory.com
営業時間／11:00〜20:00
（第三月曜日除く）

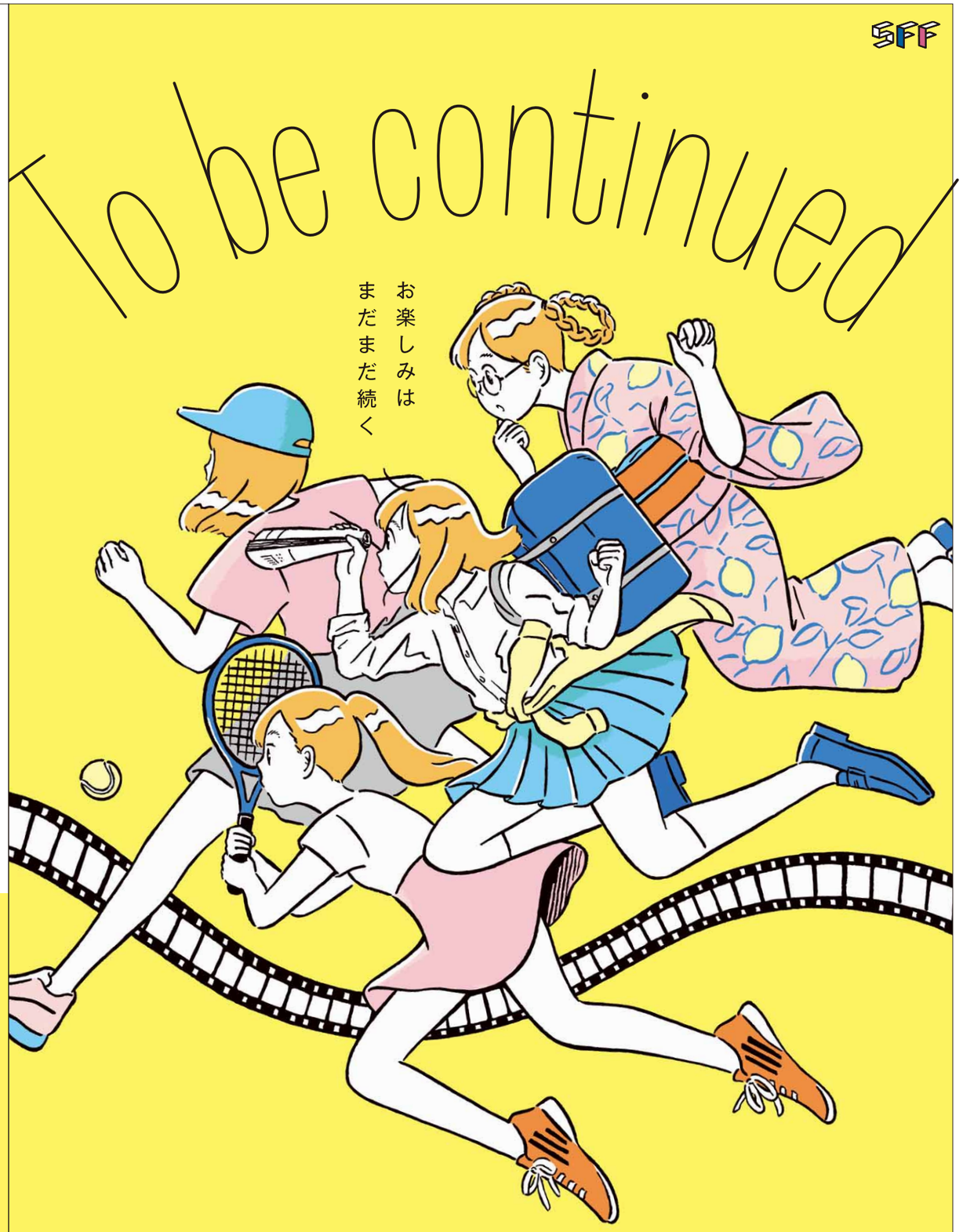
INFORMATION

チケット情報など詳しくは公式サイトにて

お問い合わせ／ info@shimokitafilm.com
公式サイト／ http://shimokitafilm.com
Twitter／ @shimokitafilm
Facebook／ www.facebook.com/shimokitafilm

※プログラム内容は変更になる場合があります。

主催：下北沢映画祭実行委員会／後援：世田谷区、下北沢商店連合会（下北沢一番街商店街振興組合・下北沢南口商店街振興組合・しもきた商店街振興組合・下北沢あず通り商店街・代沢通り共栄会・下北沢南口ピュアロード新栄商店会）、北沢二丁目協和会、北沢二丁目南町会／協賛：世田谷サービス公社、日本映画専門チャンネル、東放学園映画専門学校、CyberLink、steal factory／協力：下北沢トリウッド、ライブハウスReG、青山シアター

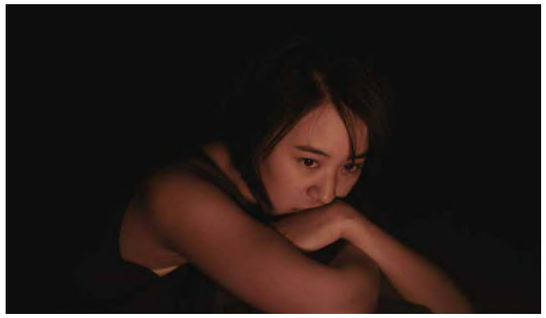


To be continued

お楽しみはまだまだ続く

program A 柄本佑×三宅唱、特集上映。

『ムーンライト下落合』（柄本佑監督）©Tasuku EMOTO



『NAGAHAMA』『八月八日』（三宅唱監督）©Pigdom, MIYAKE Sho

10/26（金） 19:30-（開場19:15）
料金｜1,800円 @トリウッド

9月1日に公開、函館を舞台に、佐藤泰志の原作を現代に蘇らせたリアルなのに浮遊感のある青春映画の傑作『きみの鳥はうたえる』。本作の主演を務めた柄本佑と監督・三宅唱。映画を愛し、映画に愛された二人を下北沢映画祭にて大特集。柄本佑監督、さらに三宅唱が助監督を務めた『ムーンライト下落合』。『きみの鳥はうたえる』にも出演している石橋静河が主演を務める『NAGAHAMA』『八月八日』を一挙上映!これからの映画界を支える新しい才能の作品をまとめて鑑賞できる貴重な機会となります。

GUEST

三宅唱監督

program B ちょっとの雨ならがまんin下北沢

『ちょっとの雨ならがまん』（安田淳司監督）© 2018 P.P.P.project

10/27（土） 11:45-（開場11:30）
料金｜2,000円 +1ドリンク 600円 @下北沢ReG

GAUZE、G.I.S.M.、THE EXECUTE、THE COMES、町田町蔵、石井聰互…名だたるアーティストたちが出演し、音楽シーンのみならず世界中に影響を与え続ける80年代の日本のハードコア・パンクシーンの黎明期を映像作家の安田潤司が記録した『ちょっとの雨ならがまん』。1984年に初公開、劇場やライブハウスを熱狂の渦に巻き込んだのち、1994年を最後に一切の上映をやめビデオ化されることもなく消えた。この夏、初公開から34年の時を経て新宿のK`s cinemaで公開された伝説的ドキュメンタリー・パンク映画が、下北沢にやってくる。

第10回を迎える下北沢映画祭。今年のテーマは「to be continued お楽しみはまだまだ続く」。節目の年ではありますが、ここはあくまで通過点。これからも下北沢映画祭ならではのワクワクをお届けしていきます。僕たちのお楽しみはまだまだ続く、皆様のご来場をお待ちしております。

program C 演劇×映画の可能性

『君が君で君だ』（松居大悟監督）©2018「君が君で君だ」製作委員会

10/28（日） 10:45-（開場10:30）
料金｜2,000円 @北沢タウンホール

劇団ゴジゲンの主宰にして『ワンダフルワールドエンド』『私たちのハァハァ』など数々の映画を手掛け、活躍のフィールドを広げ続ける松居大悟。そんな松居監督が、完全オリジナルで作り上げたラブストーリー『君が君で君だ』。下北沢を舞台に74分ワンカットで描いた青春譚『アイスと雨音』に並走し、メイキング撮影を担当したエリザベス宮地監督によるドキュメンタリー『ファーストキス』。ここでしか観ることのできない豪華2本立て上映。演劇の街・下北沢から演劇×映画の可能性に迫るプログラムをお届けします。

『ファーストキス』©2017「アイスと雨音」製作委員会

GUEST

松居大悟監督

program D MOOSIC LAB 2018 ―下北沢映画祭セレクション―

『cat fire』（奥村徹也監督）

『1人のダンス』（安楽涼監督）

10/28（日） 15:15-（開場15:00）
料金｜1,800円 @北沢タウンホール

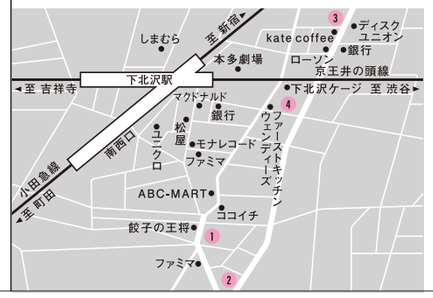
数々の名作や映画監督、ミュージシャンや役者を輩出してきた音楽×映画の祭典「MOOSIC LAB（ムージック・ラボ）」。7年目を迎えた2018年、下北沢映画祭セレクトによるプレミア上映が決定!「ノンストップナンセンスコメディ」を掲げ、今最も注目を集める劇団献身の主宰・奥村徹也×狐火による『cat fire』。第九回下北沢映画祭に『弱者よ踊れ』がノミネートされた安楽涼×OOPARTZによる『1人のダンス』。短編部門から下北沢に縁のあるこちらの2作品をセレクト。いち早く注目作を鑑賞できるこのチャンス、お見逃しなきよう!

GUEST

奥村徹也監督

安楽涼監督

OOPARTZ



1 下北沢トリウッド
（世田谷区代沢5-32-5 2F）
2 下北沢ReG
（世田谷区代沢5-30-10）
3 北沢タウンホール
（世田谷区北沢2-8-18）
4 本屋B&B
（世田谷区北沢2-5-2 ビッグベンB1F）

なにかが起こる!?

今泉力哉監督×大橋裕之先生 スペシャルトークイベントも開催!

昨年度のコンペティション審査員を務めた今泉力哉監督が、漫画家・大橋裕之先生を迎えて、第10回下北沢映画祭の開催を記念したトークショーを実施! 貴重な短編映画の上映に加えて、この日発表となる新情報も!?下北沢と映画を愛する方には必聴のイベントです!

10/27（土） 15:00-17:00（開場14:30）
前売｜1,800円 当日｜2,000円 +1ドリンクオーダー
@本屋B&B